<第三種郵便物認可> 【新聞定価(消費税込み)月ぎめ3260円・1部130円】 平成19年(2007年)1月16日 火曜日 サンケイスポーツ

オフの大型企画

みんなで考える

巨人再建論

～'07Gプランニング～

勝っても負けても「新鮮」で「面白い」野球を

最後は原点回帰『必死さ』と『走ること』

提言者⑳

羽川豊 プロゴルファー

スター不在、人気凋落、視聴率低下…。どこかで聞いた言葉だった。「われわれの業界と似ているよね」。プロゴルファーでテレビ解説者の羽川豊氏(49)は苦笑いを浮かべた。日本の男子プロゴルフ界は、宮里藍(21)ら若きスターをそろえる女子プロゴルフ界に主役の座を奪われている。巨人の低迷は〝対岸の火事〟ではなかった。「女子にあって男子と巨人にないもの」を起点に、羽川氏は〝グリーンサイド〟からG再建を語る。(取材、構成・樋山純)

低迷続く男子…

僕は「G党」どころじゃないんですよ。2つ年上の江川(卓)さんとは家族ぐるみの付き合い。同い年の篠塚さん(打撃コーチ)や一つ年下の原監督は、現役時代に一緒にゴルフをしてからの知り合い。〝普通のファン〟ではないんです。

そこへきて、不幸にも、自分の職場(日本男子プロゴルフ界)は巨人と同じような悩みをかかえている。2倍、苦しいわけです(笑)。

羽川氏は81年の日本オープンなどプロ通算6勝。米男子のメジャートーナメント「マスターズ」では初出場で15位に入り、トーナメントでは珍しい左利きから〝世界のレフティー〟と呼ばれた。現在はテレビ解説者としてお茶の間に登場しているが、低迷の続く男子ゴルフと巨人はダブってみえるという

今、勢いのある女子プロゴルフ界にあって、巨人と男子プロゴルフ界にないもの―。これははっきりしている。「新鮮味」「面白さ」「将来性」です。レベル的に女子はさほど高くない。でも、藍ちゃん(宮里)という主役がいて、横峯、大山ら脇役との関係が確立されている。どんどん若い選手も出てきて活性化している。視聴者はテレビドラマをみるようにコーチ)やつ年下の原監督は、現役時代に一緒にゴルフをしてからの知り合い。〝普通のファン〟ではないんです。

そこへきて、不幸にも、自分の職場(日本男子プロゴルフ界)は巨人と同じような悩みをかかえている。2倍、苦しいわけです(笑)。

羽川氏は81年の日本オープンなどプロ通算6勝。米男子のメジャートーナメント「マスターズ」では初出場で15位に入り、トーナメントでは珍しい左利きから〝世界のレフティー〟と呼ばれた。現在はテレビ解説者としてお茶の間に登場しているが、低迷の続く男子ゴルフと巨人はダブってみえるという

〝基本通り〟のG

男子は、新しいプレーヤーが出てこない。同じようなメンバーで優勝争いをして、それぞれが相手のことをわかっているから、選手は勝つために堅いプレーになる。見ている方は面白くない…。巨人も同じで、外国人とFA選手以外は新鮮味と面白さがない。〝基本通り〟というか、マニュアル化されているような感じがします。

一方、タイガー・ウッズ(米国)一人のように見える米男子ツアーも、そうではありません。他のみんなが「普通のいいプレー」では勝てないと思っているから、メチャクチャと思えるくらい、アグレッシブなプレーをする。ファンは「どうやってタイガーを倒すんだ?」と興味を持つ。でもタイガーが勝つ。だから人気があるんです。

羽川氏は海外のメジャートーナメントでもラウンドリポーターとして解説。ウッズに単独インタビューも行っているが、それら国内・海外をあわせた「ゴルフ界の現状」に巨人再建のヒントがあると指摘した

昨年11月のテレビマッチでラウンドしたウッズ(左)と宮里藍。こちらは〝勝ち組〟の業界?㊤㊦羽川氏は「スポーツ選手」の立場から、現状の〝負け組〟の問題点と再建案を挙げた

ウッズ(米男子)&藍ちゃん(日本女子)から学べ

選手の立場から

タイガーのようなスーパースターを作るには「10年かかる」といわれますから、今季の巨人に求めるのは無理。補強、育成、戦略…と再建の要素はいくつもありますが、それはすでに専門家の方が提言しているので、僕は「スポーツ選手」の立場からいわせてもらいます。

『必死さ』と『走ること』。最後はここじゃないかと…。巨人の選手も高校野球を経験したから わかると思うけど、若い時って「死ぬほど走った」だけで、なんか強くなったような気がする。僕もそうでした。大学(専大)時代に大島一周「鮮」で「面白い」と思うようなランニングというメニューがあった。下級生のときは地獄。上級生になると、走りたくない下級生に「下剤を入れられたらしい」なんて笑い話もあるでも、そんなことがあって、主将のとき(79年)には全日本大学リーグ戦で優勝して、当時無敵だった日大の13連覇を阻止したんです。

ちょっと古臭いかもしれないけど、スポーツ選手の〝原点〟にかえって、データとか数字とかを超越した部分からやってみてはどうでしょう。

勝っても負けても、見ている人が「新鮮」で「面白い」と思うような野球を目指す。「新鮮味」は、新しい選手ばかりではなく、既存の選手にもできます。そこが「面白さ」につながる。

今年の巨人は!?

「今年の巨人はどうやら、必死に走っているらしい。何が起きるかわからないぞ」。まずは、そう思わせるだけでいいんですよ。

◆巨人・2005、06年の観客動員数◆

年度	試合	観客動員数	1試合平均	最多観客数	最少観客数
2005	73	2922093人	40029人	46129人	18597人
06	73	2892695人	39626人	45981人	14786人

【注】試合は主催試合

◆プロゴルフ国内ツアー・過去10年の観客動員数◆

	【男子】			【女子】		
年度	試合	観客動員数	1試合平均	試合	観客動員数	1試合平均
1997	36	749075人	20808人	36	415619人	11545人
98	36	678727人	18854人	35	350658人	10019人
99	32	541270人	16915人	31	313656人	10118人
2000	33	516441人	15650人	32	293489人	9172人
01	31	512038人	16517人	33	292621人	8867人
02	29	478042人	16484人	31	266269人	8589人
03	29	446099人	15383人	30	281496人	9383人
04	29	442774人	15268人	31	338152人	10908人
05	29	441367人	15220人	33	521669人	15808人
06	29	438772人	15130人	36	493817人	13717人

◆プロゴルフ国内ツアー・過去10年のテレビ視聴率◆

	【男子】				【女子】			
年度	試合	土曜	試合	日曜	試合	土曜	試合	日曜
1997	34	4.3%	35	6.9%	27	3.8%	35	4.7%
98	34	4.1%	35	6.1%	23	3.5%	33	4.5%
99	30	3.8%	31	5.7%	20	3.4%	29	4.4%
2000	31	4.1%	30	5.9%	19	3.7%	28	4.5%
01	29	4.1%	31	5.6%	19	3.3%	29	4.3%
02	27	3.7%	29	5.1%	17	3.2%	28	3.8%
03	26	4.4%	29	5.0%	16	3.8%	28	5.1%
04	26	3.9%	28	4.7%	18	4.8%	28	6.8%
05	27	3.4%	29	4.5%	24	6.8%	33	10.0%
06	27	3.8%	29	4.4%	22	5.5%	34	7.1%

【注】ビデオリサーチ調べ。試合は対象トーナメント。視聴率は関東での平均

G党オンライン

★今の巨人は「相手に点を取られない」という当たり前のことができていない。大砲をそろえても、それ以上に打ち込まれる状況を何年も続けている。「1点取れば勝てる」チームづくりが最大の課題では (東京都・65歳、男性)

★鷹ファンです。王監督が来たときは夢のような出来事でした。その後5年で日本一。素晴らしい選手がホークスを希望して入団したり、王さんのために涙を流したり…。今の巨人にそんなカリスマはいますか? (北海道・37歳、男性)

羽川 豊(はがわ・ゆたか)
1957(昭和32)年12月8日、栃木・足利市生まれ、49歳。足利工大付月見ケ丘高(現足利工大付高)1年のときにゴルフを始め、専大時代には朝日杯全日本学生選手権を4連覇するなど数々の学生、アマタイトルを獲得。80年プロテスト合格。翌81年に日本オープンと日本シリーズで優勝。82年にはマスターズ初出場で15位。98年からNHK、テレビ朝日などで解説を務める。セントラルスポーツ所属。1m80、78kg。既婚。

あっと驚くアノ人も…ジャンルを超えた人選でお送りします!!